

# 静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7  
(榎田ビル2F)

TEL. 054-252-2418  
FAX. 054-252-2430

発行人 井上博幸

## 井上理事長に厚生労働大臣表彰

### 卓越した技能者として

現代の名工といわれる

「卓越した技能者」に對

する平成22年度厚生労働

大臣表彰式が、11月10日

に明治記念館「富士の間」

(東京都港区)で挙行さ

れた。この式典において、

井上博幸理事長は「卓越

した技能者」として栄え

ある表彰を受け、厚生勞

働大臣より表彰状、卓越

技能章(盾と徽章)等が

授与されました。

これは広く社会一般の

技能尊重の気運を高める

とともに技能労働者の地

位向上を図り、これによ

り産業発展に寄与するこ

とを目的に昭和42年に創

設されました。以来毎年

わが国最高水準の技能を

有し、他の技能者の模範

たるにふさわしい卓越し

た技能者が表彰を受けて

います。

井上理事長は、建築板

金の長年に亘る施工作業

を通じて、積極的に技能

の研鑽に努めると共に、

創意工夫による施工方法

の改善も行うなど豊富な

知識、技能を有し、大型

屋根工事、神社仏閣の銅

板屋根工事等における精

巧な細工などの実績が高

く評価されました。

また、組合役員として、

業界の発展や技能振興へ

の取組み、後継者への指

導育成等についても評価

を受け、この度の受賞と

なりました。

今回の表彰は、静岡県

知事からの推薦により受

賞されましたが、この栄

誉は御本人はもとより、

静岡県板金工業組合にと

りましては、元理事長の

鈴木辰次郎氏、前理事長

の宮崎誠氏に次いで三人

目となる大臣表彰受賞で、

正に大きな喜びでありま

す。



井上理事長の  
あいさつ

このたびは凶ならずも厚

生労働大臣より、「卓越

した技能者」表彰を受賞さ

せていただきましたが、県

下には多くの優秀技能者

がいる中、恐縮に思っ

ています。

私がこの業界に身を

おいてから61年余になりま

すが、建築板金に関する

技術、技能については、

多くの先輩、同僚の皆さ

んの、指導やアドバイ

スにより今日に至ったもの

と深く感謝をいたしてお

ります。

また、組合役員も長年

にわたり務めさせていた

だいておりますが、事業

の推進についても、組合

員の方々のご指導、ご協

力によるものとありがた

く思っています。

この受賞を機会になお

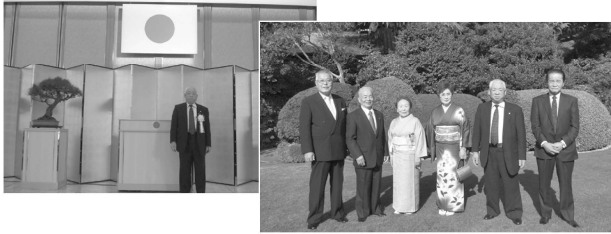
一層精進に努めたいと思

っておりますので、今後

ともよろしくお願いいた

します。

### 卓越した技能者の表彰



### 建設業労働災害防止大会

労働災害を防止し、安

全で快適な職場づくりを

目指して！第37回静岡県

建設業労働災害防止大会が、

11月9日静岡労働政会館で

開催され、本組合からは

井上理事長と事務局が出

席した。

労働災害については、

死亡者数、負傷者数とも

に長期的には減少傾向に

あるが、本年9月末現在

の静岡県内の死亡者数は、

昨年同期と比べて8人、

40%もの大幅増加となつた。

その内容は、建設業に

おける墜落・転落災害と

今夏の猛暑による熱中症

による特定死亡災害が目

立っており、このため静

岡労働局長より経営トツ

プが先頭に立ち、安全衛

生管理に関するパトロー

ル、安全点検等の防止対

策や労働者雇入れ時の安

全教育などの徹底を図る

よう、建災防静岡支部

長に対し緊急要請が発せ

られた。

大会では安全に関する

表彰等が行われ、最後に

参加者全員で安全の誓い

を唱和した。

安全標語優秀作品

「見たはず したはず  
言ったはず 甘い判断  
事故の元」

「後でやるより今すぐ実  
行。その場、その時  
安全確認」  
安全は、一人一人の心  
掛け、皆で築こう。無  
災害」



### 全国板金業国民健康保険組合 創立40周年記念式典開催

全国板金業国民健康保

険組合の第82回臨時組合

会と創立40周年記念式典

が、7月20日「東京プリ

ンスホテル」で開催され、

静岡県板からは、三役と

事務局が出席した。

臨時組合会では、21年

度事業等3議案が審議さ

れ原案どおり可決承認さ

れた。終了後、創立40周

年記念式典が挙行され、

この席で静岡県板からは

次の2名が永年功労表彰

を受けた。

組合会議員

林 紀明氏

事務主任

山崎加津代氏

この後、会場を移し記

念祝賀会が行われ、関係

省庁、団体から大勢の来

賓が招かれ盛大なパーテ

### 技能検定試験合格発表

技能検定委員長 松浦 源

22年度技能検定実技

講習会は、6月5日・6

日にポリテクセンター

静岡で、1級29名、2

級6名の受講者が参加

し、指導員10名により

実施されました。ハン

ダ付けもやった事もな

い、拍子木も未だおほ

つかない受講者がいる

中で2日間の講習会は

身に入ったと思います。

1ヶ月の練習期間後、

7月8日にポリテクセ

ンター静岡にて実技検

定試験が行われ、組合

の実技講習会において

習得した受検者は4時

間余りにわたってその

技能を發揮しました。

それから学科試験に

向け、8月24日・25日

に学科講習会が静岡労

政会館で実施され、9

月5日に技能検定学科

試験が行われました。

10月1日に合格発表

があり、県板事前講習

会受講者の合格は、1

級15人、合格率51.7%、

2級は7人の全員合格

を得た。1級において

は、来期に向けてもう少

しい練習努力をしてもら

いたいと思います。

### 厚生労働委員会開催

厚生労働委員会が、7月28日に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、林委員長を始め20名の委員が出席し、労働安全問題から福利厚生関係など幅広い課題について熱心な討議が行われた。

### 1 安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会事業の安全パトロールについては、昨年に引き続き10月に東中西の各地区で実施する。また、御殿場、富士・富士宮、清水等の支部は自主的パトロールを行っており、他支部も状況に応じて実施することとした。

### 2 労働安全衛生規則の改正による足場等の安全措置

昨年の改正を受けて委員会でも取上げたが、要点が十分理解できない面もある。支部単位で労基署の出張説明による講習会を開催するのも良いではないか。

また、労基署によっては大変厳しい点検、取締りを行っているところもあり、組合員全体に理解されるよう努めて欲しい。

更に現場においては、現場監督と常に綿密な相談連携を図ることが基本との意見があった。

### 3 熱中症の予防

例年にならない猛暑続きの中、屋外作業に従事する組合員にとって、熱中症対策には万全を期さなければならぬので、その予防から発症時の適切な措置を十分理解しておく必要がある。

長年の経験に基づく意見交換がなされ、水分補給の方法、服装、保冷剤の活用、塩分の摂取、1時間毎の休憩など多くの実例が紹介された。

### 4 全板連全国大会について

石川大会の参加状況、経費の精算について報告があり、予備費として徴収した2,000円は参加者に還元することに決まった。

次回の青森大会は23年5月12日に青森市で開催されるが、県板としては今後2泊3日の予定でコースの選定、参加費用の算定を検討していくこととしている。

### 5 県板の取扱い保険について

県板で現在取り扱って

いる11種の保険について、その内容、加入者数、取扱い手数料について事務局から説明があった。この中で全国板金業国民健康保険については被保険者数が全国最下位のため、他の保険から加入替えでカバーする組合員は協力して欲しいとの意見があった。



### 保証経営委員会開催

保証経営委員会が、8月19日に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、金原委員長を始め15名の委員が出席し、業界を取巻く厳しい経営環境の中、現状と課題などについて、講師を招いての講習と活発な意見交換等が行われた。

講習「屋根・外壁・雨樋等の標準施工について」

講師にクボタ松下電工

外装(静岡営業所課長の山岸正人氏を招き、昨年10月から施行された住宅瑕疵担保履行法に基づく屋根・外壁の施工仕様等について、映像を主体にした講習を受けた。

今後の新築住宅に課せられる外壁の通気構法と結露の問題や雨漏れ事例など詳しく解説された。

住宅リフォーム事業を中心に国の住宅施策の現状と今後の動向、課題や太陽光発電の各県別施工状況と設置に伴う雨漏り等のトラブルについても説明された。

### 2 保証経営事業について

責任施工保証制度と利用状況について、意見交換等がされたが活用未経験の委員の大半は、制度の内容や手数料について承知しておらず、また14年経過した現在でも活用事業所は延べ19事業所のみで、この制度の浸透と定着には程遠い現状にある。

日板協指定商品事業について、本県の実績は上がっていないが、組合員の商品に対する評価はまちまちであり、組合自体が積極的に関与するのは難しいとした。

### 3 太陽光発電への取組みについて (意見交換)

講師の説明では、2007年における静岡県太陽光発電設置件数は全国第6位で、日照時間等の地理的優位性を考えると、今後大いに期待できる分野とされた。

しかし、現時点ではメーカーとの調整やライセンス取得の問題、また施工上の難易度等から積極的に取組みたいとの意見は皆無であった。

過去に施工経験を有する委員からは、将来的なメンテナンス等のことを考えると自分から消費者に勧めるのは躊躇するとし、当分再開の意思はないとのこと。

委員長からは、県板として特別な推進事業等は行わないが、支部単位で勉強会等をされるのは良いのではないかとこの意見が述べられた。



## 安全パトロールの実施

平成22年屋根工事安全パトロールが各地区で実施された。中部は10月13日に参加者15名、西部は10月15日に参加者10名、東部は10月19日に参加者10名で合計21箇所の工事現場でチェックが行われ、指導件数は1件であった。

### 東部地区安全パトロール

常任理事 重杉 甫

本年度も、事業計画にありました安全パトロールを10月19日に担当支部の富士宮支部の案内により、県板役員 井上理事長、林地区長、野村常任理事、中村会計、横山理事、それと私重杉の5名、担当の富士宮支部より4名で7箇所の工事現場のパトロールを行いました。

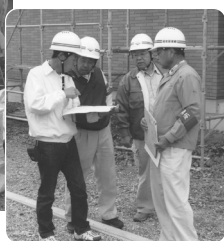
朝8時30分頃富士宮駅に集合し2台の車に分乗して回らせていただきました。そのなかで、感じた事は建築物が町中に少なく造成した郊外にかたよっているように思えました。

しかも、請元が個人の工務店さんではなく殆どが建設会社が土地造成した所へ建売形式で販売し

ているのが目につきました。これですと大手建築会社が自分たちの系列の業者を連れてきて工事をやって地元業者に行かせる程度の仕事が落ちるのかなど、自分かつてに考えたりしました。この現象は富士宮に限ったことではなくどの地区でもみられるように思います。

近日では労働基準監督署の指導が浸透してきている為かどの現場をみても、足場等が確実に設置されているように思います。

今回のパトロールに地元富士宮支部の仲尾支部長、岡本、依田、鈴木各組合員の皆様の御協力に感謝致します。



# WAZAフェスタ2010のふじ開催



ものづくりの楽しさや技術の素晴らしさを子供達に伝える「WAZAフェスタ」が7月31日(土)8月1日(日)の両日にわたり富士市の「ふじさんめっせ」で開幕した。板金、木工、左官などの職人に教わりながら物づくりを体験できるコーナーや展示、販売、実演などが繰り広げられ家族連れで賑わった。



WAZAフェスタは静岡県技能士会連合会、雇用促進支援協会、能力開発機構静岡センターなどで行う実行委員会が主催で県東部、中部、西部を持ち回りで開催している。

会場では各種職能団体による板金、左官、木工など体験コーナーが開設され、多くの子供達が作品づくりにチャレンジし職人のアドバイスに耳を傾け、夢中になって銅板画や銅板ヘラ出しに挑戦し最後まで頑張り出来上がった作品に満足そうに笑顔を広げていた。

子供達にとっては夏休みの素晴らしい経験になったと思う。

一方、販売コーナーではステンレスの塵取りやバケツ、如露、銅板の水差しなどを並べ売上も順調で品薄になり、富士市部がフェスティバルで販売する品物も並べ2日目の2時ごろには技能競技会の作品も並べ有った物が全て完売であった。完売と言う事はそれだけ盛況であった。

月末、月初めの忙しい中、井上理事長、林東部地区長、中村会計、重杉常任理事、横山理事、山田・鈴木技術検定委員、段原保証経営委員、木村沼津支部長、そして富士宮支部役員の皆さん、開催地の川崎富士支部長をはじめ会員の皆さんにはご協力をいただき有り難う御座いました。

初日には暑い中を、松浦中部地区長、北村・青木常任理事、二俣事務局長の応援をいただき有り難う御座いました。また、元理事長で相談役の町田博氏の訪問を受け、激励のことばをいただきました。

閉会にあたり松下和生静岡県経済産業部就業支援局長の挨拶で幕を閉じました。ちなみに来場者数は8,000余名であったことを報告いたします。

常任理事 野村 和 稔

## 技能フェスティバル賑わう

ものづくりの良さを発信する「第32回富士市技能フェスティバル」が10月10日(日)「ふじさんめっせ」で開かれた。

富士市技能職団体連絡協議会と富士市勤労者福祉サービスセンター加盟団体でつくる実行委員会が主催。体験や即売を通じて、多くの市民が熟練職人の技能や手作り品の良さに触れた。

や、製品をPRする展示ブースを開設して来場者の相談に応じた。

会場には板金、大工、建具、左官、畳、菓子、綿寝具などの技能団体や富士市シルバー人材センターなど19団体が出展した。体験、実演コーナー

技能フェスティバルと合わせ、富士市勤労者福祉サービスセンター加盟の中小企業による「第7回異業種合同フェア」も開かれ、多彩な分野の28団体出展した製品即売も賑わいをみせた。

また、渡辺一雄さんを中心に銅板、真鍮板で折り鶴の制作実演には大勢の人達が見学し、私にも出来るかしら?などと質問をしていた。一方、ステンレス製のバケツや塵取りなどの即売も順調で組合員もおおわらわであった。

報告者 野村和稔



### 欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品 / 銅・アルミ・ステンレス / 化学製品  
機械工具 / 住宅設備機器 / エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

## 西川鋼販株式會社

本社 / 〒437-1302 掛川市大淵9617  
TEL 0537-48-3828(代)  
FAX 0537-48-2644



トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい  
三晃式長尺瓦棒・三晃式折板構造

## 株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地  
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

### セキノ構造葺屋根工法

## ダブネットトップ 快適横段15

スッキリした  
設置ラインが美しい 快適エコルーフ

ジョイント部材不要	施工性	ジョイント部
二重防水構造	防水性	
遮熱塗装鋼板使用	遮音性	
断熱ボード工法	断熱性	

## プレステージ

### やね屋の太陽光発電! やってます!!



## 株式会社 植松

本社	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
沼津営業所	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
御殿場営業所	御殿場市清後545-1	TEL 0550-83-6760
伊東営業所	伊東市宇佐美福田1111	TEL 0557-47-1363
富士営業所	富士市松岡寺新田413-5	TEL 0545-62-0233
製造部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1004
建販部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555

# 技能祭に参加して

静岡支部 北村 弘

10月24日静岡市清水区楠に有る県立清水技術専門校で学生及び各業者が参加をして、技能祭が行われた。

私ども静岡県板金工業組合も、静岡支部、清水支部が参加致しました。

清水支部組合員が製作した、バケツ・チリトリ、静岡支部からは、ブックエンド・一輪差し・銅板製鶴など、テーブルの上に並べました。

10時より開会式が行われ、専門校校長及びお客様の挨拶が有り、その後、各業者の物作り及び販売が行われました。

私たちが組合の所にもお客様が来て頂き、バケツ・チリトリなどすぐに売



切れてしまいました。清水支部に在庫が有るとの事からすぐに取りに行きました。追加した商品もすぐに売り切れてしまいました。手作りのバケツ(ステンレス・チリトリ(カラー鋼板))は特に人気があり、手作りの良さがまだまだ人気のある事を実感致しました。特価の為にも有ると思えますが、組合員が協力して、沢山製作し販売して板金組合のアピールをする事も大切な事だと思えました。来年度も是非参加をして今年以上に板金組合の手作り商品を沢山販売し、お客様に喜ばれる様努めたいと思えました。

# 「WAZAチャレンジ教室」前期の結果

平成22年度WAZAチャレンジ教室の前期が終了し、当板金組合関係では、小学校2校、中学校5校が参加し、延べ149名の生徒が「銅板へら出し」に挑戦した。近年「銅板へら出し」人気の高まりにより、各地区では指導員の確保に苦労しているが、今回も36名の組合員の協力により各校で熱心な指導が行われ、生徒や学校関係者から大いなる感謝を受けた。

また、県が纏めた参加20種目、1,830人の児童、生徒からのアンケート結果によると、「今日体験したものがづくり(製作物)に興味を持ちましたか。」の問いに、小学生93.2%、中学生89.0%が興味を持ったとしている。「将来、ものづくりの仕事につきたいと思えますか。」の問いに、小学生21.9%、中学生20.2%が思うと答えている。

教員からも多くの感想等が寄せられており、「こたわって一つの作品を作り上げる体験もさることながら、楽しみながらの忍耐や集中の経験は、今後の生活に良い影響があるのではないかと感じました。」「何より生徒がとても良い表情をしており、やはり本物の職人さん(技能士さん)の言葉や教え方には私達にはない深みがあるなと思ったりました。日当を考えるととても贅沢な事業だと思います。」「参加費が一律2,000円というのが気にかかる保護者がいた。」等がありました。

## WAZAチャレンジの指導より

沼津支部長 木村公一

6月29日、沼津市立第五中学校で3年生22名が「銅板へら出し」に取り組んだ。今回の指導には、三島支部の山田衛氏、段原良則氏、富士支部の野村和稔氏と私の4名が当たり、最初の作業手順や道具の使い方を説明し、本年の課題「バラの花」の作品作りに取りかかった。

教室には生徒達の熱意、緊張感が漂っていたが、工程が進むにつれ形が整い始めると、和やかな雰囲気となり、3時間ほどで全員が思い思いの作品

を仕上げる事が出来た。作品については、それぞれ指導員に評価してもらい、ものづくりの楽しさを味わうことが出来たと喜んでもらった。また、先生方からも感謝の言葉をいただきました。



## 原里中学校よりお礼の手紙

6月30日に行われた御殿場市立原里中学校2年生の参加生徒25名から指導にあたった技能士の皆さんあてに、県を通してお礼の手紙が届きましたので一部紹介します。なお、小学生の時にも銅板へら出しを経験した生徒が何人か参加したようです。

とても難しい作業でしたが、その分やりがいがあり、今回作った作品は自分でもうまくなったのがよかったです。学校の皆からも「お前が作ったのか？」と疑われました。事を選んだときは、弟子

にしてください。技能士の方々の説明がとても分かりやすく、不器用な僕でも素早くきれいに銅板を加工することが出来ました。最初は「こんな板一枚でどんな物が出来るのだろう」と思いましたが、だんだん立体的になっていくと、心の中で押えきれない喜びが出てきました。

## 金山彦神社祭

静岡支部

JR静岡駅北口の紺屋町に在る小椋神社に祀られている金属関係業者の御祭神である金山彦の祭典が11月6日(土)、7日(日)の2日間開催された。近年、他組合の解散などがあり現在は、石材組合、金属工業会、静岡市板金協同組合の3組合が金山講として祭典を執行なっています。

今年には板金組合が祭典の当番であるため、事前の飾り付け、イベントである福引の景品の準備等に追われ開催まで大変でした。

両日は大道芸Wカップの開催もあり、天候にも恵まれ街中は大変な賑わいでした。辺りが夕闇

せまる頃、神社の境内では太鼓の演奏が始まり、大人はもとより子供達の演奏も素晴らしい壮大で祭りの雰囲気を感じ上げてくれました。

無事、年番の大役を終える事ができました。役員の方々が本場にお疲れ様でした。

## 「金山祭とは」

金山彦命(かみやまひこのみこと)は古事記において鉾物の神。一般に金属の神格化とみる向きが強く南宮大社をはじめ全国の金山神社で祀られている。

霜月に金属資源を授け給う金山彦命とその妹神である金山比めの神(かみやまひめのみこと)として金匠、石匠の祖神と称えられる石匠留命(いしりよめのみこと)を尊き恩恵をうけるため二日間御祀りをします。

